

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 消防の広域化について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>本市では令和5年12月から消防の広域化に関する検討が進められており、名古屋市を中心とした8消防本部による研究会が設置されています。</p> <p>市は、広域化によって「スケールメリットによる財政的効果」や「消防力の強化」が図られると説明しています。しかし、それが瀬戸市と瀬戸市民にとって本当に効果的かどうかについては、近隣や全国の事例検証も踏まえた、より丁寧な調査と慎重な検討が必要と考えます。</p> <p>また、50年経過した消防本庁舎の建替えについて、市は昨年12月、「広域化への参画を判断した後に課題を→</p>	<p>(1) 研究会の位置づけと透明性</p> <p>(2) 「広域化＝消防力強化」は実証できるか</p>	<p>①研究会での研究は令和5年12月27日から開始されたと聞いています。広域化研究会の目的を伺います。</p> <p>②昨年11月には広域化研究会で研究結果が報告される予定であったと承知していますが、遅れている理由と今後の見通しを伺います。</p> <p>③消防の広域化には、事務委託、一部事務組合、広域連合などの方式があります。本市では名古屋市への事務委託方式を前提に研究が進められていると承知していますが、他の二方式との違いについて伺います。</p> <p>④研究結果を踏まえ、消防広域化協議会への参画の判断がされることとなります。協議会への参加は、実質的な広域化への参加であり、極めて重要な決定です。この最終判断に、住民の代表機関である議会はどのように関与できるのか伺います。</p> <p>①「消防力の強化」はどのような指標で実証されるのか伺います。少なくとも、本市において装備基準が名古屋市消防局の基準に統一された結果、消防車両や救急車の配置台数が減少しないこと、また消防職員一人当たり人口が増加しないこと、これらが担保されなければ「強化」とは評価できないのではないかと考えますが、見解を伺います。</p> <p>②消防団の活動について、広域化により指揮命令系統や組織体制が変わる場合、消防団や地域防災体制との連携のあり方については、研究会において検討項目としてどのように位置付けられているのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>整理し、整備方針を定める」 との見解を示しましたが、広域化研究会のまとめの報告は予定より遅れています。</p> <p>組織の士気と地域との密着性を維持する観点からも、広域化の判断とは切り離して、老朽化した庁舎の更新を優先的に検討すべきではないかとの問題意識から、本質問を行います。</p>	<p>(3)「スケールメリットによる財政効果」について</p>	<p>③地域防災活動や市の防災安全課との行政内部における連携について、広域化により消防本部の組織体制が変わる場合、市の防災部局との役割分担や情報共有体制についても重要な論点であると考えますが、研究会においてどのように整理・検討されているのか伺います。</p> <p>④昨年4月から指令センターの共同運用が開始されていますが、その運用状況について、管轄人口が拡大すれば通報件数の増加や同時多発の可能性が高まりますが、現在、同時に何件の119番通報を受信できる体制となっているのか伺います。</p> <p>⑤回線数及び指令員の配置人数は十分と考えているのか。併せて、大規模災害時に回線が逼迫する事態を想定した対策は講じられているのか伺います。</p> <p>⑥管轄エリア拡大により、火災・救急・救助が同時多発した場合の優先順位付けや重症度・延焼危険度の判断はどのように担保されるのか伺います。例えば、瀬戸市内で火災発生中に名古屋市内で大規模事故等が発生した場合、指令の優先順位や部隊配分はどのように決定されるのか。南海トラフ地震を含む大規模災害を想定したシミュレーションは行われているのか、併せて伺います。</p> <p>①市は広域化により「スケールメリットによる財政効果」が見込めると説明していますが、その効果は具体的にどのような仕組みによって生じると考えているのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。



16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(6) 広域化の慎重な判断と 早期の庁舎整備	<p>①消防は市民の命を守る最後の砦です。広域化は一度進めれば元に戻すことが極めて困難であり、慎重な判断が必要です。そのうえで、「規模が大きくなるから安心」といった抽象的な説明ではなく、本市にとって本当に必要かどうかを、単独消防の強化という選択肢とも比較した上で、丁寧に検証・議論すべきと考えます。</p> <p>広域化協議会への参画の可否を判断するにあたり、市としてどのような基準を設け、どのような手続きで結論を導くのか伺います。併せて、その判断過程における議会の関与をどのように位置付けるのかも伺います。</p> <p>②昨年12月議会の答弁において、市長は広域化研究会の結果を踏まえて協議会への参画を判断し、その後に課題整理を行ったうえで庁舎整備方針を定めるとの考えを示されました。しかし、研究会の報告が遅れていることから、庁舎整備の時期にも一定の影響が生じているのではないかと考えます。研究会の見通しが現時点で明確でない中、庁舎整備の判断をどの時点まで待つのか。令和8年度末まで待つのか、あるいは令和9年度予算に反映できるよう一定の時期で判断するのかなど、現段階での市長の見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。